

# 持続可能な門川町を目指す「かどがわ行財政改革プラン」に対する評価が行われました！

「かどがわ行財政改革プラン」～持続可能な自治体経営に向けて～

本町では、平成8年3月に「新門川町行政改革大綱」を策定して以来、効率的・効果的な行財政システムを構築していくため、事務事業の改善や組織・機構の整理合理化、給与制度の見直しや定員管理の適正化、各種事業の民間委託など、行財政改革を押し進めてまいりました。

本格的な人口減少や少子高齢化社会が到来し、町税の増収を見込むことが難しい状況の中、今後も、社会保障費などが増加することは予想されます。今後は、出生率低下に伴う人口減少社会に向けて、デジタル化への対応が求められています。このような変革に対応しながら、今後も、社会に対応した町政、なおかつ、町民ニーズに対応した行政サービスを提供していくため、これまで以上に、効率的で効果的な自治体運営を進めていかなければなりません。

そのために、「かどがわ行財政改革プラン（以下、「改革プラン」という。）」を策定し、人口が減少し、地域経済が縮小していく中であっても、地域の営みや町民生活が充実していくよう「笑顔あふれる町づくり」をキーワードに、行財政改革を進めてまいります。

この改革プランに定めた「14項目」の取り組みの推進にあたっては、各担当課で定めている事業計画とも連携を図り、自治体のチェック機能を強化するとともに、社会情勢にも配慮しながら推進してまいります。

～ 目指すべき自治体運営 ～

「限られた資源や職員数の中にあっても、真に、必要な行政サービスの質は高めて、安定し提供できる自治体、門川町を目指します」

人口減少、少子高齢化社会において持続可能な自治体運営を図るとともに、地域の営みや町民生活が充実していく「笑顔あふれる町づくり」の実現を目指していきます。そのため、「改革プラン」に重点的に取り組む「4つの改革の柱」を掲げ、その成果が行政サービスの資質向上につながるとの認識を持ち、着実に行財政改革を実行していきます。

人口減少が進んでいく中において、あらゆる行政サービスをこれまでと同じように提供し続けることには限界も出てきます。「笑顔あふれる町」にふさわしい行政サービスのあり方も考えながら、必要となる行政サービスでは質の向上を図っていき、持続可能な自治体運営を進めてまいります。

※ 持続可能な門川町であるために必要となる取組の「4つの改革の柱」  
 (柱1) 職員(ひと)づくりの改革 (柱2) 仕事の改革 (柱3) 公共施設の改革 (柱4) 上記の3つの改革の柱を支えていくために、改革の柱を支える土台づくり

令和8年2月19日開催の「門川町行財政改革構想審議会」において、町内の漁業、商工業、農林業、福祉、金融、教育など多様な立場にある17名の委員(6名欠席)により、以下の令和6年度かどがわ行財政改革プラン「14項目の取組み」に対し、評価をしていただきました。いただいたご意見、評価を次年度の取り組みに反映し、「目指すべき門川町」の姿の実現に向け、改善を重ねてまいります。

改革の柱	取り組み(タイトル)	事業目的や内容等
職(1)員(ひと)づくりの改革	1. 多様な人材の確保	行政課題の複雑化・多様化に対応するため、困難な政策課題に対応できる多様な人材確保を行います。職員の多様な経験、スキル、専門性を活用できる職員配置を行います。
	2. 役場職員におけるデジタル化能力の向上	国の進めるデジタル田園都市国家構想等に対応していくため、役場職員のスキル向上を図っていきます。外部人材による研修会や専門的な事項を学ぶ機会を構築していきます。
	3. 挑戦し続ける職員を支える職場づくりの推進	人事評価制度を活用し、「門川町らしさ」のあるまちづくりの実現に向けて、自ら行動する職員を育成します。単に法令を遵守するだけでなく、社会の規範・要請に応え、町民から信頼される自治体を推進します。
	4. 職員が能力を発揮できる職場環境の整備	全ての職員がワーク・ライフ・バランスを保ちながら、その能力を最大限に発揮できる職場環境を整備します。多様な人材が柔軟で多様な働き方が可能な、働きやすい職場環境を整備します。
仕(2)事柱の改革	5. ソーシャルメディアを利用した窓口サービスの提供	町公式LINEやマイナンバーカードを用いて、各種証明書の申請から交付までをスマートにサービス提供します。SNS上のおくやみ窓口開設により、住民が必要事項等を事前に入力することで来庁時にスムーズな案内ができ、手続きにかかる時間を短縮します。
	6. 健診予約システム導入	職員の事務負担軽減が図れ、効率的な予約管理ができる健診予約システムを導入し、受診率の向上を図ります。 【令和6年11月よりシステム稼働】
	7. 出納業務のDX化	収納業務に係るDX化は、今、できることは完了しています。支払に係る業務のDX化が残っていた出金伝票の電子化を取り入れ、収納・支払双方の業務のDX化を行います。
	8. スマホ納付の開始	令和4年度開始のスマートフォンを活用した収納方法であるPayPayの広報をすることで、収納のデジタル化を推進し業務の合理化を目指します。
	9. 申請書等の押印の見直し	行政手続きに関する町民の負担を軽減するとともに、行政手続のデジタル化に向けた環境の整備を図ります。
	10. ペーパーレス会議の推進	庁舎内外の会議時には、紙ベースの資料を配布し会議を開催しています。SDGs(持続可能な開発目標)に配慮していくために、紙の使用量を減らしていきます。
改(3)革公(共)共(施)設(の)	11. 公有財産の適正な管理	老朽化が進む町有施設について、将来的な利用見込みなどを踏まえた施設の統廃合や計画的な修繕を実施し、町有施設の適正な管理に努めます。
土(4)改(作)台(柱)を支える	12. 町税徴収対策の強化	町税等の徴収率の向上のために、差押等による滞納処分を実施します。預貯金差押・給与差押などの滞納処分を徹底していきます。
	13. 持続可能な門川町であるための健全な財政運営	長期的視点による計画的な財政運営により、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率について、適正な数値を維持していきます。
	14. 事業の洗い出しとPDCAの履行	住民意識の多様化や少子高齢化社会の到来により、多様な事業展開が求められています。限られる職員の中で円滑な事業展開を実施するため、毎年度の事業洗い出しとPDCAサイクルによる事業調整を行っていきます。

審査会 委員による主な評価・意見	
効果があった。(11件) 事業の拡大、改善を望む評価(11件)	・人材確保が厳しい中で、専門人材の確保がなされたことは、業務対応で効果があるのではないかと。 ・役職定年の延長による問題提起は無いのか、新しい風が通るようにすることも大事ではないか。 ・さらなる技術職の確保に向けて、発展的な問題解決の方法による対策の継続をお願いします。
効果があった。(11件) 事業の継続、改善を望む評価(11件)	・効果が見えにくいですが、人事評価にて力量を評価されている。 ・各課からのヒアリング実施を行うなど効果があったと思われる。 ・ヒアリング内容の共有による職員のデジタル化の意識向上に繋がるのではないかと、研修の継続をお願いします。
効果があった。(11件) 事業の改善、継続を望む評価(11件)	・人事評価研修の実施は、職員の成長支援や人材育成に繋がり、住民へも業務を含め良い効果があったと考える。 ・職員からの報告があったことは、意見が出やすい環境ということが良いと思います。また、その対応状況も信頼回復のために必要だと思います。 ・ハラスメントが無いよう、職場環境の充実にも努めて欲しい、第三者的な窓口の確保は重要だと思います。
効果があった。(11件) 事業の継続、改善を望む評価(11件)	・年休・育休とも職場の理解と協力が必要であり、また業種や課によっても取得状況が異なるのではないかと。管理職の共通の理解・認識が必要である。 ・男性職員の育休取得も進んでいる。 ・育休申請にあたり、他の負担が重くなっているのか？負担が大きくなっていけば改善が必要、負担が変化しないのであれば、より他の人も取得しやすい環境にあると言える。
効果があった。(11件) 事業の継続を望む評価(11件)	・費用対効果は分からないが、コンビニ交付の導入検討(土・日・祝日の対応可) ・利便性の向上とスマホを持たない町民へのサービス両方に向き合った上での質の向上が求められます。 ・将来AIの進化により、DX・AIの実務研修が必要、専門業者(民間)の導入している会社に職員を派遣し研修。 ・利用者の利便性向上に貢献している。
効果があった。(11件) 事業の継続を望む評価(11件)	・スマホの普及により若い人へ、より身近な存在になって健診受給の向上に繋がっていると思います。 ・ネット予約者が増加しており今後に期待できる。申込方法の選択を増やすことは良いことだと思う。 ・住民利便性の向上と窓口業務の効率化が継続的に見込まれ、他手続きへの展開の可能性もあることから本事業の継続性は高いと評価できる。 ・システム導入による事務負担軽減はもちろん受診率向上が大いに期待できる。また、間違いの軽減に繋がるのではないかと。
効果があった。(11件) 事業の継続を望む評価(11件)	・業務の簡素化に十分貢献できていると思う。 ・会計課より各課へWEB伝票の案内や操作説明を行い、行政からも取組む必要性を伝えるべきでないか(早めの取組みを)
効果があった。(11件) 事業の継続を望む評価(11件)	・人口減少、働き手不足から、なかなか足を役場に運べない人にとっては、利便性が高いと思います。継続して取組んでいく必要があると感じます。 ・クレジットカードによる納入については？キャッシュレスが進む中、納税者に配慮した取組みで良いと思う。 ・引き続きスマホ納付のPRを、収納率の向上と安定に向けて、是非継続・拡大して欲しい。
効果があった。(11件) 事業の継続、改善を望む評価(11件)	・国においては、請求書の押印は不要との判断が出ており、町としても更なる押印不要を進めて欲しい。 ・請求元である事業者等にも配慮した取組みかと思えます。 ・町の行政手続き以外でも、例えば生産組合等の事務関係に関する押印の廃止検討を国や町の指針に基づき行ってもらいたい。 ・オンラインでの請求機会も増えているかと思えますので、請求書の押印不要もぜひ検討していただきたいです。
効果があった。(11件) 事業の継続、改善を望む評価(11件)	・効果が見えにくいと思います。 ・ペーパーレス化は非常に良い取組みです。ただ共有ファイルの安全性の担保は絶対必要と考えます。 ・ペーパーレス会議は今始まったばかりである。令和8年度に紙の使用量減少を期待する。 ・紙を減らすのではなく、紙を減らすためにどうリアクションを起こすかということが大事では ・作業効率化に十分貢献している。
効果があった。(10件)なかった(1件) 事業の継続、改善を望む評価(11件)	・公共サービスの減とならないように質を保ちながら、施設総量減は難しい取組になり、最適化という評価考え方が必要だと思います。 ・町有地があれば処分、消費税の減額配分の注意・目に見える形での適正な管理を望む ・土地の売買は町内を見て鈍化傾向と認識している。その中で公有財産の売却は、単的に非常に厳しいものと考えます。売却、地域での活用など、幅広い考察が必要でないか
効果があった。(11件) 事業の継続、改善を望む評価(11件)	・滞納者から徴収することは、大変な業務と考えております。担当職員等のメンタルサポートを十分お願いします。 ・税の公平性から徴収率向上は必要である。引き続き担当職員には、ご苦労をお掛けしますが、徴収にご尽力をお願いします。 ・継続して徴収対策の強化をしていってください。
効果があった。(11件) 事業の継続、改善を望む評価(11件)	・これからの大型事業による経費増が想定され、健全な財政運営を望む ・廃棄物焼却施設の負担金の想定が必要、長期的な財政計画が必要。 ・近年の物価高騰(人件費・資材高騰等)年々事業費は増大傾向にある。事業の十分な検討が必要である。財政を含めた大型事業計画を(長期的な視点で)
効果があった。(11件) 事業の継続を望む評価(11件)	・PDCAによる事業調整、大変と思うが期待しています。 ※P:プラン(計画)、D:DO(実行)、C:チェック(状況把握)、A:アクション(調整・改善) ・評価を踏まえ、次年度の取組みにいかしてもらいたい。